



2021年5月6日

各 位

会社名 石塚硝子株式会社
 代表者名 代表取締役 石塚 久継
 社長執行役員
 コード番号 5204 (東証・名証第一部)
 問合せ先 取締役 常務執行役員 財務部長
 畔柳 博史
 電話番号 (0587-37-2111)

**特別損失（固定資産の減損損失）の計上及び2021年3月期通期業績予想と実績との差異
 並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ**

当社は、2021年3月期において特別損失（固定資産の減損損失）を計上いたしました。これにより、2020年10月22日に公表いたしました連結業績予想と実績の差異について下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2021年3月20日を基準日とする剰余金の配当につきまして無配とさせていただくことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、生産停止の意思決定を行ったガラスびん関連事業の姫路工場に所在する固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、3,648百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想

(1) 2021年3月期通期の連結業績予想と実績との差異（2020年3月21日～2021年3月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	65,000	0	100	△250	△59.72
実績値 (B)	64,940	852	1,153	△3,023	△722.17
増減額 (B-A)	△59	852	1,053	△2,773	
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 2020年3月期	73,745	2,497	2,165	1,180	281.89

(2) 差異の理由

売上高は概ね計画通りに進捗しました。営業赤字を回避するため、設備投資の圧縮並びに経費削減などグループを挙げてのコスト削減に取り組み、営業利益及び経常利益は増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上述の減損損失を計上したことにより大幅に減益となりました。

3. 剰余金の配当

(1) 2021年3月期の配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2020年4月27日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基 準 日	2021年3月20日	同左	2020年3月20日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	48円00銭
配 当 金 総 額	—	—	200百万円
効 力 発 生 日	—	—	2020年6月17日
配 当 原 資	—	—	利益剰余金

(2) 無配の理由

当社は、収益状況に対応した配当を行うことを基本としておりますが、何よりも先ず安定的な配当の継続を重要な方針といたしております。

しかしながら、前述の業績状況並びに現時点では財務体質の強化を図ることが最優先と考え、誠に遺憾ではございますが期末配当実施の見送りを本日開催の取締役会で決定させていただきました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上